



開館10周年・合併5周年記念 夏期特別展

葛飾北斎生誕250年記念 — 富嶽三十六景と風景画展 —



「富嶽三十六景 山下白雨」
葛飾北斎 和泉市久保惣記念美術館蔵

「黒富士」の愛称をもつ「山下白雨」は、真っ赤な山肌と流れる雲を描いた「赤富士」（凱風快晴）や、荒れ狂う波が印象的な「大浪」（神奈川沖浪裏）とともに世界でもっとも有名な浮世絵と言っても過言ではありません。これらの絵が含まれる『富嶽三十六景』のシリーズは、文政13年（1830）頃、浮世絵師葛飾北斎（1760-1849）によって描かれました。

北斎は、『富嶽三十六景』を制作する以前、西洋絵画から遠近法や陰影表現を学び、銅版画風の風景版画を制作していました。しかし、『富嶽三十六景』では、季節や時間、天候の変化を織り込んだ独自の風景画スタイルの確立を見ることができます。

図の「山下白雨」は、雄大な富士山の上下で同時に起きている、快晴と白雨（夕立）という二つの自然現象を描いたものです。雪が残る山頂は晴れ渡り、周囲には白い入道雲がもくもくと湧き出ていますが、漆黒の闇に覆われた麓では真っ赤な稲妻が光り、強烈な落雷と地面に打ち付ける激しい雨の音を感じさせます。この荒々しい大自然の営みにも動じることなく、静かにそびえ立つ富士山の力強い姿は見る人を圧倒することでしょう。

本展では、『富嶽三十六景』を全揃いで展示するとともに、北斎が富士山を描いた版本『富嶽百

景』（3冊）や、北斎が風景版画に傾注した天保（1830-44）前期の作品を展示します。富士山や雄大な日本の景色を描いた数々の版画から、北斎の新たな魅力を発見していただければ幸いです。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子

【会期】 7月30日（金）～8月29日（日）

【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
（但し入館は午後4時30分まで）

【休館日】 月曜日、祝日の翌日

【ミュージアムトーク】 当館学芸員

7月31日（土）午後1時30分～ ※要観覧料

【入館料】 大人 700円（630円）

高・大学生 400円（360円）

※（ ）は20名以上の団体料金。

※70歳以上の方、中学生以下は無料。

※障害者手帳をお持ちの方・付き添い1名は半額。

【美術館無料開放日・開館時間延長】

8月15日（日） 午後7時30分まで開館

ミニギャラリー 作品募集!

あなたの作品をここに展示してみませんか？

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

問い合わせ：企画財政課

☎0287-92-1114



花菖蒲まつり（ふるさとの森公園）

ミニ ギャラリー



第2回那珂川町学童軟式野球大会
優勝 馬頭ラッキー